



SHINYUSHA

001

Japanese Root Culture

和紙で梅の花をつくってみよう



心遊舎

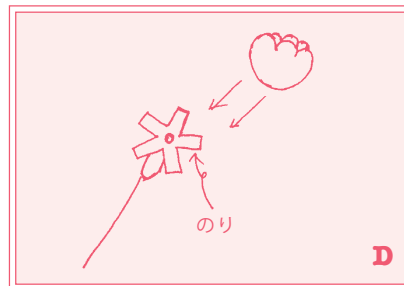
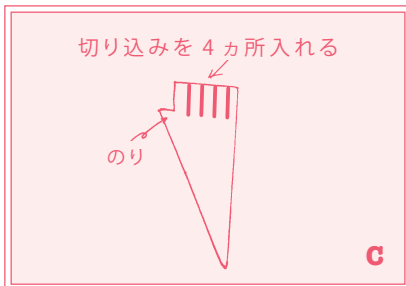
日本で昔から使われてきた和紙を使って、梅の花をつくってみよう。
材料は、いろいろな色に染められた和紙とりのり。図鑑などでよく花
や葉っぱの形を観察してね。梅の花じゃなくてほかの花をつくっても、
もちろんOK! 本当は梅の花は神社に奉納して神様に捧げるんだよ。



How to make a paper flower

和紙で梅の花をつくってみよう

パパとママと
一緒につくろう



[材料]

和紙(赤、白、茶色)
のり
はさみ
きり
ビー玉
色鉛筆
ワイヤー

つくりかた

1. 赤の和紙と白の和紙をそれぞれ梅の花の形に切っていきます。1枝につき、各色10枚ずつ切ります。花の角に切り目を入れて丸みがつきやすいようにしておきます(A)。
2. 切った梅の花は同じ色を2枚ずらして、のりで貼ります(B)。
3. 乾いたら、赤いお花は白い色鉛筆などでメシベを描き、白いお花は黄色でメシベを描きます。石やビー玉など丸いものをのせて手の上で転がし、お花に丸みをつけていきます。
4. 茶色の和紙をガクの形に切り、切り込みを4カ所入れます。鉛筆などで巻き、端の三角の部分にのりをつけ、筒のような形にします。のりが乾いたら、ワイヤーに巻きつけていき、切れ目部分を開きます(C)。
5. 切り目を開いたところにのりをつけ、丸みをつけたお花をのせて貼りつけます。そのようにしてつくった梅のお花が赤5本、白5本できます(D)。
6. 赤5本をずらしてつけ、1本の枝にしていきます(咲いている梅の枝を観察してみましょう)。茶色の和紙を細く切ったものをワイヤー部分が見えないように巻きつけ、ひとつずつずらしながら足していき、梅の枝らしく仕上げていきます。白の枝も同様につくります。
7. 何本か同じ様につくり、粘土などでつくった台(発泡スチロールに和紙を貼ったものでも可)に梅の花を飾っていきます。



写真：永田忠彦 協力：梁司よしおか

心游舎

子どもに本物の日本文化を伝える

「次世代を担う子どもたちに本物の日本文化を伝えたい」。そんな彬子女王殿下の思いに賛同した有志一同で、2012年に発足した団体が心游舎です。心游舎の活動の中心は、寺や神社でおこなわれるワークショップ。子どもたちが日本の文化をもっと身近に感じられるよう、そして、寺や神社が共同体での育児の場になれるよう、少しずつ、小さなワークショップを開催しています。

2013 Shinyusha Kids Camp in Izumo

心游舎のキッズキャンプ開催

2013年8月7日～9日(予定)、心游舎は、神々のふるさと「出雲」で、心游舎としてははじめてとなるキッズキャンプを開催します。早朝の出雲大社を散歩したり、8月7日に行われる日御碕神社のお祭りに参加したり、地元の漁師さんと地引き網をしたり、神話の読み聞かせをしたり。いつもと味違う夏のキャンプを、心游舎のキッズキャンプで体験してください。宿泊はテントではなく、神社関係の宿泊施設を予定しています。親子で参加のキャンプです。詳細は心游舎のfacebookに決まり次第投稿していきますので、ご興味がある方は「いいね!」をお願いします。



心游舎 facebook : www.facebook.com/shinyusha

[お問い合わせ先] 心游舎 mail: contact@shinyusha.jp